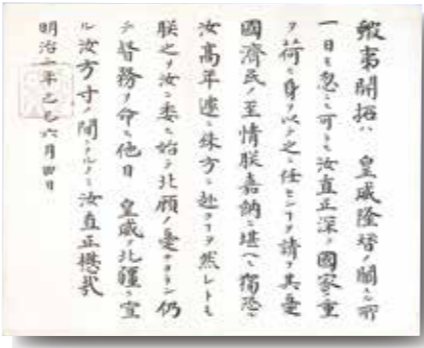


明治維新を迎えた新政府は多くの有能な人材を北海道へ派遣し、開拓に全力を注ぐことになります。北海道開拓に尽力した先人たちの熱い想いと軌跡をご紹介します。

2018年(平成30年)、本道が「北海道」と命名されてから150年の節目を迎えます。

明治天皇が鍋島直正に与えた勅書=鍋島報効会



未知は拓ける

創造価値への挑戦、そして未来への扉

開拓使初代長官として尽力

なべ しま なお まさ
鍋島直正
(一八一四〜一八七二)

出身地/東京都(旧国名 武蔵国江戸)

幕末・明治の佐賀藩主。
専売・殖産興業を奨励するなど藩の財政改革を行う。
おりからの外国船出沒に備えて、任にあつた長崎の海防を厳しくするなど、早くから外国警備の重要性に関心をもっていました。
新政府では議定、大納言、開拓使長官を歴任。
北海道開拓行政の体制を整えました。

明治天皇が勅語

箱館戦争が終焉を遂げてわずか三日後の明治二年五月二日、京都御所で「蝦夷地開拓の件」が下問された。その結果、開拓を急ぐ必要があるとして、中納言、議定で肥前藩前藩主の鍋島直正を開拓督務に任じた。

直正は長崎という開かれた玄関口を警備しながら、つねに北に目を光らせていた。北海道開拓の重任が下つたのは当然だったのである。

この時、直正に与えられた勅語を冒頭のみ掲げる。

病気を理由に辞職

直正はすぐ島義勇をはじめ、桜井慎平、松浦武四郎、岩村通俊らを蝦夷地御用掛として開拓行政の体制を固めた。

七月八日、開拓使が設置された。直正は開拓使初代長官に任ぜられ、大納言に昇進した。この間に蝦夷地は北海道と改称され、二国八六郡になった。

だが直正はほどなく病気と高齢を理由に辞職した。すでに藩主の座を譲っている身であり、北海道まで赴く体力もなかったのである。しかし本人は、もともと信頼できる島義勇を首席開拓判官にし、その他に、有能な判官を選んだことで満足していた。後任の二代長官に東久世通禧が就き、北海道の開拓は始まる。



鍋島直正の居城、肥前城(佐賀城)



鍋島直正

蝦夷開拓ハ皇威隆替ノ関スル所
一日モ忽ニス可ラズ
汝直正深ク国家ノ重ヲ荷ヒ身ヲ以テ
之ニ任セン事ヲ請フ
其憂国済民ノ至情朕嘉納ニ堪ヘズ
独恐ル汝高年遽ニ殊方ニ赴ク事ヲ
然レドモ朕之ヲ汝ニ委ス

旧幕府軍を鎮圧したいま、再び起こってはならない内戦であり、その一方でロシアの南下政策がひととき高まっていた。明治天皇がいかに蝦夷地開拓を急ごうと、心を砕いていたかわかる文面だが、それだけ北海道が危機的位置に置かれていたかを示すものといえる。



蝦夷地の地図に書かれた直正の署名(左上中段)と東久世通禧の和歌(左上下段)



自筆の書翰

長崎と北辺の防備

直正は肥前藩江戸藩邸で生まれた。天保元年、藩主の座に就くと、儉約を實踐して最新武器や艦船を取りそろえ、佐久間象山らを招いて大砲製造所を設け、反射炉を建設し、砲台を据えて防備を固めた。

藩士の子弟に学問を奨励し、人材の育成に努めるかたわら、医学、蘭学の専門家を招き、医療を充実させた。また殖産業を興し、農業を豊かにした。

肥前藩は黒田藩とともに早くから長崎警備を担当し、国防に努めてきた。その一方で直正は北辺の経営に着目し、「長崎の警備と北門の鎖鑰は守備相応せざるべからず」が信念だった。

協力:北海道神宮・「開拓の群像」刊行委員会

150年ほど前までは原野であった札幌。この住みやすく豊かな都市に発展した背景として、明治2年に佐賀から来られた開拓判官・島義勇の功績は大きく、彼の都市構想が現在の札幌に生かされています。

「島義勇伝」は札幌の歴史を知るきっかけとして子どもから大人まで楽しめる教育的な漫画です。ぜひ一読ください。

町田隆敏
札幌市教育委員会教育長

『島義勇伝』

北海道・札幌の礎を築いた、開拓判官「島義勇」の物語

北海道庁
タイアップ作品!!

佐賀県庁
推薦図書!!

◎北海道学校図書館協会
推薦図書!!

◎佐賀市役所 ◎佐賀市教育委員会
推薦図書!!

「島義勇伝」製作委員会 著/エアーダイブ 定価:本体900円+税 ISBN:978-4-907436-02-5 C0921

発行 | Dybooks(ダイブックス) 〒064-0808 札幌市中央区南8条西4丁目422番地5 グランドパークビル3F TEL:011-533-3216 FAX:011-533-3215 エアーダイブから発信する! 本のサイト <http://www.dybooks.jp/>

コミックス
好評発売中!!

各書店にて
お求めください。

第8回 北海道神宮フォトコンテスト

北海道神宮の周辺は自然の恵みの宝庫です。神宮境内の四季折々の景色や、初宮詣、七五三詣、結婚式などの人々の様子。北海道神宮例祭(札幌まつり)、開拓神社例祭(神輿渡御)、神饌田での行事などの祭事風景など、当神宮に関わる写真をお送りください。

応募締切
平成30年
3月10日(土)
消印有効

※応募部門: ①一般部門(専門学校、大学生含む) ②学生部門(中学生、高校生)

賞品	各部門1名	各部門2名	各部門20名
神宮賞	▶賞状、賞金10万円 (学生部門は図書カード5万円)	▶賞状、賞金5万円 (学生部門は図書カード3万円)	▶賞状、協賛会社賞品

●入賞・入選発表:平成30年4月上旬(北海道神宮ホームページにて) ●入賞・入選作品展:平成30年4月~9月以内 神宮境内予定 主催/北海道神宮 後援/北海道神宮奉賛会 協賛/中西印刷株式会社

学生部門も
作品募集中

北海道神宮 〒064-8505 札幌市中央区宮ヶ丘474
TEL.011-611-0261 FAX.011-611-0264

▶コンテストについての詳細はホームページをご覧ください。
www.hokkaidojingu.or.jp 北海道神宮 検索